

## ペット同室避難 人と動物が同じ安全な室内に避難できる避難所

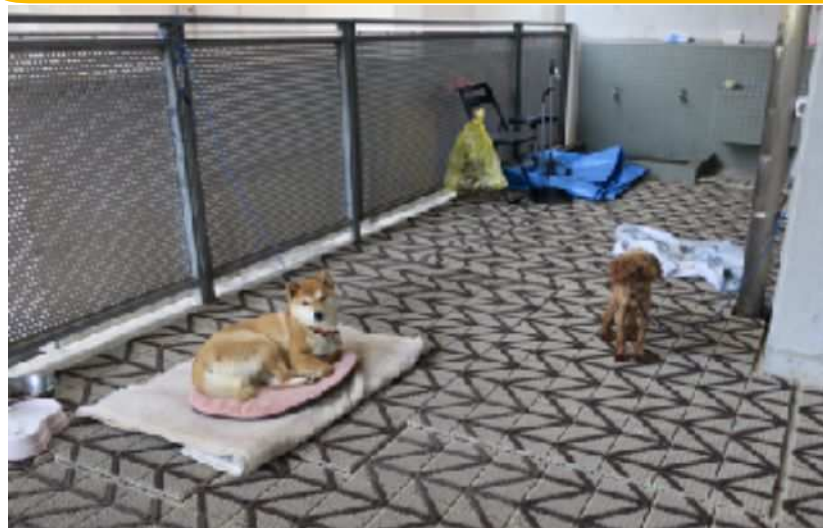


(1)ここはペット連れ専用の人の避難所でした。廃校になった学校を利用しています。各教室の中を1家族ずつ仕切り、人もペットも同じ空間で生活をしていました。



(2)建物のロビーです。1家族ずつダンボールで仕切り、その中でペット連れの人は生活をしていました。建物内の他の場所は、人間だけの家族の人たちが生活をしていました。

## ペット同行・同伴避難 人と動物が別々のスペースで避難する避難所



(3)避難所になった体育館のベランダです。飼い主さんは体育館の中で生活をしています。余震が続く中、知らないペット同士で生活をするため、ストレスでペット同士の争いが起きていました。



(4)ここはペットと室内に入ることができない避難所です。ペット連れの人は建物の外にダンボールで囲ったスペースを作り、避難していました。

## ペット不可 ペットの受け入れができない避難所



(5)避難所にペットを連れていけないため、倒壊の危険がある自宅の庭に小屋を作っています。飼い主さんは避難所からお世話をしに通っていました。



(6)ペット連れに人は車中泊で避難生活を送る人が多くいました。この写真は、車中泊の人がたくさんいる駐車場にテントを持ち込み、そこでペットと生活をしていました。

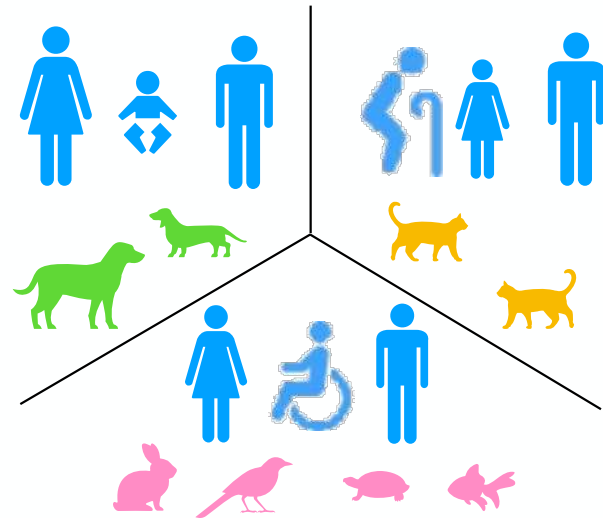
# 提案したい避難所のかたち

## ペット同室避難

動物アレルギーのある人、動物が苦手な人へ配慮して住み分けをする。

### 避難所

人と動物が居住するスペース（同室避難）

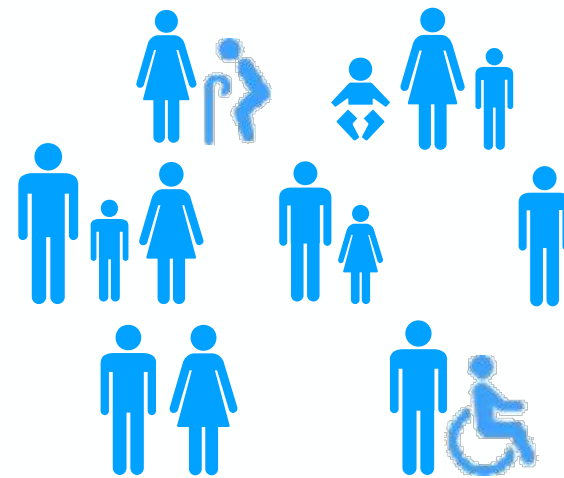


飼い主とペット、動物と同室でも良いという人たち。

犬・猫・その他小動物など、動物の種類で居住エリアを分ける。

（建物の構造や広さにより作り方は異なる）

人だけが居住するスペース



動物アレルギーがある人、動物との同居を望まない人たち。